

2016年度 環境活動レポート

対象期間： 2015年9月～2016年8月

作成日：2016年10月31日



Best Coffee By

MUC 上島珈琲貿易株式会社

目次

ご挨拶	2
環境方針 理念	3
環境方針 行動指針	4
事業概要	5
組織概要	6
認証・登録の対象組織と活動 ...	7
主な環境負荷の実績	8
環境目標・実績	9
環境負荷の推移	10
環境活動による経費の削減効果...	11
取り組み結果と評価	12
環境関連法規の遵守と状況	15
代表者による評価と見直し	16

※ 環境活動の紹介 ※

太陽光パネル	17
節電の取り組み	18
節水	19
自動車燃料の削減	20
製品の環境への配慮	21
リデュース.....	22
リユース.....	22
リサイクル.....	23
品質管理による環境負荷軽減 ...	24
地域との関わり	25
環境教育	26

ご挨拶

弊社が環境活動を本格的に開始したのは2010年の事でした。当時は3S活動の延長で、「もったいない」「節約」という考え方が活動の大きな動機となっていました。そこから他社の活動を参考にさせて頂き、とにかく思いついた事は何でもすぐに実行するスタイルで突き進んで来ました。そして気がつけば環境に関する社内意識が高まり、自発的に環境に配慮した製品を製造するまでになりました。昨年度は社内のできる環境活動もいよいよやり尽くした印象もあって少し停滞感が漂っており、更にこの数年は売上減少が環境負荷低減に繋がっていた部分もあり、手放しで喜べない状況もありました。しかし、今年度は増収増益を達成したうえで、更に環境負荷も低減する事に成功した点にご注目頂ければ幸いです。

(今回は背景画像にブラジルのコーヒー農園視察で撮影してきた写真を使用しており、これが私たちが環境活動を通じて守りたい風景です。※背景なので見辛いですがご了承ください。)



Best Coffee By

MUC 上島珈琲貿易株式会社



環境方針 ①理念

私たちの取り扱う珈琲は地球環境の変化に対して影響を受け易い農作物です。

地球温暖化の影響で生産可能な地域が減少する可能性も研究結果として公表されています。

しかも日本国内の気候風土での生産には適さない農作物のため、そのすべてを海外の生産国からの輸入に頼っています。

そこで、私たちは珈琲生産国の生物多様性の維持のために有機JAS認証珈琲など環境に配慮された商品を取り扱います。

そのために必要な加工の認証を取得し、すでに販売も始めました。また消費国としても環境負荷を軽減するため、節電など節約への取り組みから、品質管理強化によるロスの防止を全社的に取り組み推進するなど地球環境の保全に配慮します。

そして、環境配慮企業になるため、環境教育より一層充実させながら、全社一丸となって自主的・積極的に取り組みます。

環境方針 ②行動指針

1

以下について具体的な環境目標を定め環境活動計画に基づき継続的な改善に努めます。

a. 地球環境保全の為に二酸化炭素の排出量を削減します。

電気使用量の削減

ガソリン使用量の削減

b. 循環型社会形成の為に省資源、廃棄物の削減及び再資源化に取り組みます。

食品廃棄物（焙煎かす・抽出かす）のリサイクル率向上

一般廃棄物の排出量の削減

c. 水資源を有効活用します。

一般排水の削減

d. グリーン購入を推進します。

e. 環境負荷が低減する製品を提供します。

f. 品質管理の制度・運用などのP D C A管理を確立し、トラブル抑制による環境配慮を推進します。

2

環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3

当社で働く全ての社員にこの環境方針を周知します。

制定日：2010/9/22 改定日：2014/9/29

事業概要

1 事業紹介

- コーヒーの焙煎
- フランチャイズ事業
 - 珈琲専門店MUC
 - 珈琲専門店MUC QUEEN
- 直営店事業
 - エスプレッソカフェUEBO
 - MUCコーヒーロースターズ
- インターネット通販
 - MUCカフェスタジオ
 - MUCオンラインショップ
- 業務用コーヒー卸
- 開業支援
- ショップサポート

2 加盟団体

全日本コーヒー公正取引協議会
全日本コーヒー公正年金基金
一般社団法人 日本フランチャイズチェーン協会
一般社団法人 日本スペシャルティコーヒー協会
大阪珈琲商工組合
大阪府中小企業家同友会

組織概要

1 名称及び代表者名

上島珈琲貿易株式会社
代表取締役 上島 淳史

2 所在地

本社	大阪府堺市美原区太井 1 2 2 - 1
MUC COFFEE ROASTERS 八尾店	大阪府八尾市北本町 2 - 2 ベントモール八尾 3 番街 B - 2 7
UEBO 谷町店	大阪府大阪市中央区農人橋 1 - 2 - 1 大江ビル 1 階

3 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 : 村井高行 [商品部物流課]
担当者 : 瀧宮久恵 [総務部]
TEL : 072-361-1000
ホームページ : <http://www.muc-coffee.co.jp/>

組織概要

4 事業内容

コーヒー豆の焙煎・加工
卸売・小売業

5 事業の規模 ※平成28年9月30日現在

製品出荷額 **6.9** 億円 / 年 (平成27年度は6.1 億円 ※**今期は増収増益**を達成)

事業所・直営店	本 社	従業員 40 名	延床面積	990 m ²
	八尾店	従業員 4 名	延床面積	61 m ²
	谷町店	従業員 3 名	延床面積	74 m ²

6 事業年度

期首9月 ～ 期末8月

エコアクション21 認証・登録

1 認証・登録の対象組織と活動

登録 組織名

オフィス・工場 上島珈琲貿易株式会社 本社
店 舗 MUC COFFEE ROASTERS 八尾店
店 舗 U E B O 谷町店

活動

珈琲豆の焙煎加工及び販売
珈琲専門店フランチャイズチェーンの主催
カフェ直営店の運営
家庭向けWEB通販

2 主な環境負荷の実績 ※電力の二酸化炭素排出係数：0.355 kg-CO2/kwh

項 目	単 位	2013 年	2014 年	2015 年	2016 年
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	259,600	242,935	220,364	207,164
廃棄物排出量	kg	23,364	23,173	24,068	23,180
一般廃棄物量排出量	kg	20,210	18,970	19,730	19,847
産業廃棄物排出量	kg	3,154	4,203	4,338	3,332
食品再資源化率	%	43	53	65	65
総排水量	m ³	1,530	1,371	1,011	979

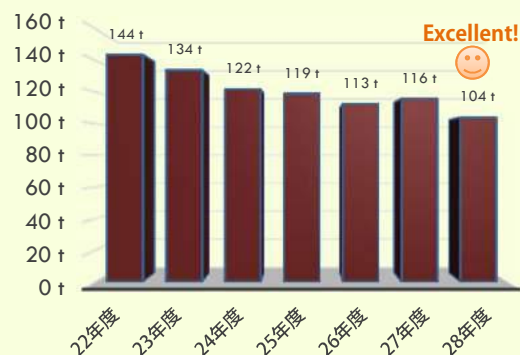
環境目標・実績

項目	年度	基準値	2016年		2017年	2018年
			(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素排出量削減 CO ₂ 換算係数 0.355	kg-CO ₂	127,341	73,858	Clear! 64,978	72,584	71,311
	基準年比	(2010年)	58%	51%	57%	56%
自動車燃料による二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	142,333	122,406	Clear! 103,959	120,983	119,560
	基準年比	(2010年)	86%	73%	85%	84%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	269,674	196,264	168,937	193,567	190,871
※プロパンガスは少量のため、目標としていません。						
一般廃棄物の削減 ※循環資源は目標としていません。	kg	6,937	3,330	Clear! 2,877	3,260	3,191
	基準年比	(2010年)	48%	41%	47%	46%
食品リサイクル率の向上 ※この項目のみ数値が上回れば達成です。	発生量(kg)			7,144		
	減量+再資源化量(kg)			Clear! 4,656		
	%		60%	65%	61%	62%
節 水	m ³	2,962	1,185	Clear! 979	1,155	1,126
	基準年比	2,010	40%	33%	39%	38%
グリーン購入			サステイナブル珈琲の買付、中古パソコンを購入再生トナー、再生インクの購入		サステイナブル珈琲の買付、中古パソコンを購入再生トナー、再生インクの購入	サステイナブル珈琲の買付、中古パソコンを購入再生トナー、再生インクの購入
製品への環境配慮			異物除去設備稼働による生産ロスの防止		異物除去設備稼働による生産ロスの防止	異物除去設備稼働による生産ロスの防止

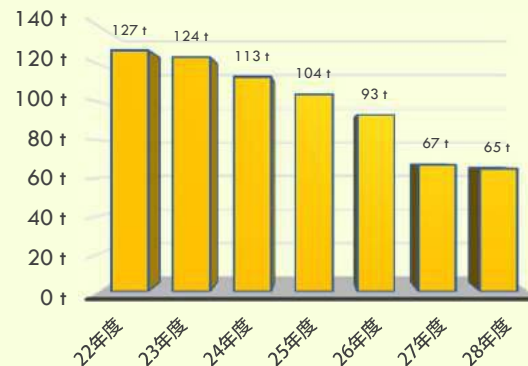
※この表の目標は2015年9月に設定したものです。

環境負荷の7年間推移

自動車燃料Co2



電力消費量Co2



総Co2排出量



水消費量



一般ごみ廃棄量

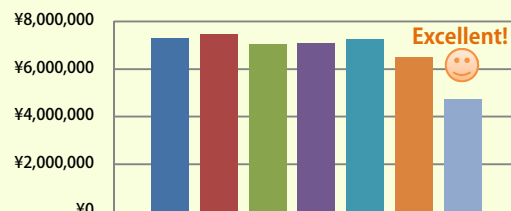


食品リサイクル率

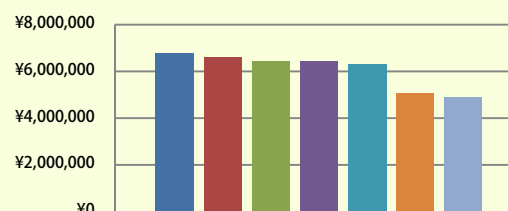


総Co2排出量は、自動車燃料Co2と電力消費量Co2にLPG消費量Co2を合計した数値です。
 前期（平成27年度）と今期（平成28年度）の差は、自動車燃料量が減少した事が大きく寄与しており、車輛のリース満了時にエコカー導入及び車輛の削減、取り組み始めて7年になるエコドライブの継続によって達成されたものと判断。今期は増収増益を達成しつつ、無駄を省く努力を地道に継続した1年だった。

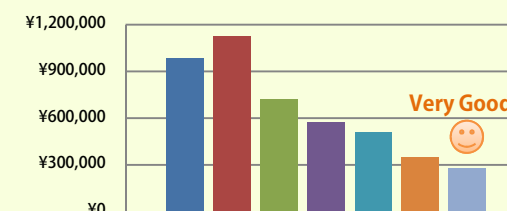
環境活動による経費の削減効果



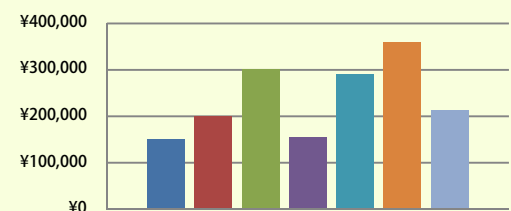
年度	経費 (円)
22年度	¥7,309,509
23年度	¥7,444,730
24年度	¥7,046,249
25年度	¥7,093,760
26年度	¥7,253,719
27年度	¥6,491,038
28年度	¥4,701,894



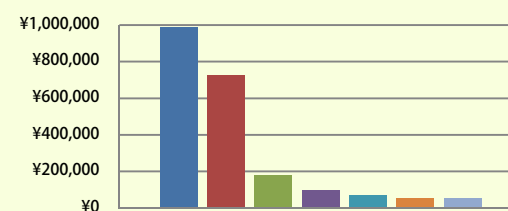
年度	経費 (円)
22年度	¥6,775,693
23年度	¥6,622,645
24年度	¥6,443,829
25年度	¥6,431,066
26年度	¥6,307,525
27年度	¥5,068,985
28年度	¥4,898,961



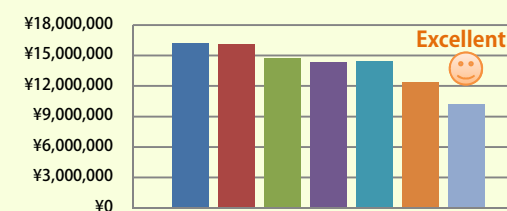
年度	経費 (円)
22年度	¥986,649
23年度	¥1,124,511
24年度	¥718,164
25年度	¥576,297
26年度	¥511,521
27年度	¥349,479
28年度	¥280,019



年度	経費 (円)
22年度	¥150,389
23年度	¥199,165
24年度	¥301,647
25年度	¥154,126
26年度	¥289,354
27年度	¥358,476
28年度	¥212,138



年度	経費 (円)
22年度	¥985,600
23年度	¥725,200
24年度	¥181,730
25年度	¥95,034
26年度	¥70,836
27年度	¥52,836
28年度	¥52,836



年度	経費 (円)
22年度	¥16,207,840
23年度	¥16,116,251
24年度	¥14,691,619
25年度	¥14,350,282
26年度	¥14,432,955
27年度	¥12,320,814
28年度	¥10,145,848

28年度は22年度に比べて、合計で6,061,992円の経費が削減でき、27年度と比べて2,174,966円の経費が削減できた。ガソリン使用量減少と利用ガソリンスタンドの低価格店限定によりガソリン代の大幅削減に成功した。

取組結果とその評価、次年度の取組内容①

電力による二酸化炭素排出量の削減

取組み・計画	達成状況	評価と次年度の取組み内容
・朝礼前、全員清掃後の消灯アナウンスの放送	◎	今年度目標の目玉だった省エネ型焙煎機の開発が遅れ、そのメリットであるCO2削減に寄与できなかったものの、これまでの地道な活動の継続によって増収増益の中、排出量を維持する事ができた。 来期こそ、省エネ型焙煎機の導入によって電気使用量を削減したい。 ただし、来期は営業拠点が増える可能性があり、その場合は各拠点毎の削減が現実的な目標になる。 次年度の数値目標は55%に設定。
・電力を季節別にデマンドコントロールしている。	△	
・離席時にパソコンをスタンバイ状態にする	◎	
・不必要な照明の消灯	◎	
・クールビズ、ウォームビズによる冷暖房使用抑制	○	
・空調機フィルターの定期的清掃交換等の適正管理	○	
・省エネ型珈琲焙煎機の開発	×	

自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減

取組み・計画	達成状況	評価と次年度の取組み内容
・エコドライブ等運転方法の励行	○	エコドライブ活動の継続という下支えがあった上で、リース期間満了に伴う営業車の入れ替えや営業車の削減による効果が現れ、燃費向上・ガソリン使用量減少によってCO2排出量を削減する事ができた。 増収増益下で達成できた理由は、配送効率の良い外部委託によるところが大きい。 来期もエコドライブ活動の継続とエコカー導入によって成果を上げたい。次年度の数値目標は77%に設定。
・タイヤの空気圧の定期的確認と適正值保持	◎	
・追加配送の防止	△	
・排気ガス・騒音のレベルを抑えるため適正な車両整備	◎	
・エコドライブ20箇条の音読	○	
・更新時に低燃費車を選択	◎	

取組結果とその評価、次年度の取組内容②

一般廃棄物の削減

取組み・計画	達成状況	評価と次年度の取組み内容
・ 3 S（整理・整頓・清掃）活動の実施	○	活動の継続により昨年同様の結果を達成する事ができた。 来期も活動継続によって維持しつつ、ペーパーレスを更に推進してゆく。 次年度の目標は 4 5 % に設定。
・ ペーパーレス会議の推進	△	
・ 電子帳票化の推進	○	
・ 紙、金属缶、ガラス瓶、プラスチック等の分別の徹底	◎	
・ 緩衝材 B O X を設置し、緩衝材を再利用する。	◎	
・ 在庫数量の適正化等の在庫管理	◎	
・ ゴミ分別の徹底とリサイクルの推進	○	

食品リサイクル率の向上

取組み・計画	達成状況	評価と次年度の取組み内容
・ チャフ・珈琲抽出カスの堆肥化 （リサイクル業者へ依頼）	◎	活動の継続により昨年同様の結果を達成する事ができた。 来期も活動継続によって維持しつつ、直営店のコーヒー抽出カスのリサイクルを推進することで率を向上させたい。 次年度の目標は 6 2 % に設定。
・ 製造工程における不良品等の発生抑制	◎	
・ 珈琲カスの直営店（UEBO）での配布	◎	
・ 在庫管理強化による不良在庫発生抑制	○	
・ 出庫段階における商品（食品）破損の防止	◎	
・ 品質管理改善による生産ロスの防止	○	

取組結果とその評価、次年度の取組内容③

節 水

取組み・計画	達成状況	評価と次年度の取組み内容
・焙煎機付属のチャフ散水に使用する水の循環	◎	活動の継続により昨年同様の結果を達成する事ができた。来期も活動継続によって維持したい。 数値目標は36%に設定。
・日常的な節水励行	○	

グリーン購入

取組み・計画	達成状況	評価と次年度の取組み内容
・サステイナブル珈琲の買付を増やす。	△	概ね目標は達成できたが、サステイナブル珈琲の買付けに関しては大きな変化がなかった。 来期こそはサステイナブル珈琲の買付けを大きく増やしたい。
・パソコン＆プリンタは原則、中古パソコンを購入	◎	
・再生トナー、再生インクの購入	◎	
・コピー用紙はGPNガイドライン対象品を購入	○	

製品への環境配慮

取組み・計画	達成状況	評価と次年度の取組み内容
・生豆石抜機の稼働	○	石抜機の稼働、金属探知機・X線探知機の稼働、風力選別機の稼働によってクレームが減少した。 来期も今期の体制を維持したい。
・金属探知機・X線検知器の稼働	○	
・風力選別機の稼働	○	
・品質管理改善による生産ロスの防止	◎	

環境関連法規等の遵守状況確認及び 評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（廃プラ、食品廃棄物など）
フロン排出抑制法	業務用空調機、冷凍庫、冷蔵庫
NO _x ・PM法	大阪府条例（自動車流入規制、ステッカー貼付）
食品リサイクル法	食品廃棄物
容器包装リサイクル法	製品の容器包装（紙、プラスチック）
家電リサイクル法	家庭用冷蔵庫
浄化槽法	浄化槽

- ☑ 環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
- ☑ 関係当局より違反の指摘は、過去3年間ありませんでした。
- ☑ 食品廃棄物の再利用率は今年度の目標値60%に対して65%で達成しました。

代表者による全体の評価の見直し

環境活動への取り組みは順調に実施され、二酸化炭素排出量は目標達成出来ました。主な要因として、エコカーへの乗り換えによるガソリンの使用量の減少が考えられます。昨年に引き続き、追加項目も計画に無いことでも出来ることはすぐ全員で取り組むことにより、好ましい企業風土作りにもつながっています。

環境教育としての「エコ検定」は合計22人の合格者を輩出、環境経営に対する意識はますます向上しました。

環境経営が進すみ事業領域の珈琲も環境に配慮した原料を正式に取り扱うために有機JASの認証を取得し販売を継続しています。

更により安全安心な商品づくりのために、風力選別機、石抜き機、金属探知機、X線検査機を導入することにより不良品の発生を抑制することが進んでいます。

エコカーをはじめ、グリーン商品についても可能な限り購入をしています。

エコアクション活動が浸透し、環境経営システムも有効に機能しているので引続き継続していきます。

2016年10月

代表取締役 上島 淳史

環境活動のご紹介①

太陽光発電



こんにちは、
僕MUCくんです！
今年も頑張りましたので
どうぞご覧ください！



- ✳ 投資費用の回収予定について ✳
- 買取単価 36円/kWh (税抜)
 - 買取期間 20年
 - 回収期間 8年6ヶ月
 - 利回り 11.7%/年 (10年間の平均)

平成27年9月～28年8月

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
予想発電量 (kwh)	1,154	1,057	843	764	811	903	1,220	1,415	1,512	1,329	1,462	1,528	14,000
実際発電量 (kwh)	1,090	1,243	1,069	582	787	790	1,049	1,325	1,684	1,505	1,404	1,895	14,243
実際÷予想	94%	118%	127%	76%	97%	87%	86%	94%	111%	113%	96%	124%	102%

今期で発電2年目。

実際の発電量が予想値比で**102%**となっており、ほぼ予想どおりに推移している。

(売電している為、弊社のCO2排出量削減量には加算せず)

❖ 今期の実績：発電量 **14,243 Kwh** CO2削減量 **7,449 kg-CO2**

(関西電力の平成26年度のCO2排出係数0.523kg-CO2/kWhで計算)

導入効果
Excellent!
😊

環境活動のご紹介②

節電の取り組み

節電効果
Good!



消灯指示の放送

朝礼前と朝清掃後に自動で消灯指示放送が流れます。消灯すべき時にタイムリーに放送されるので効果が高かった。

❖ 朝礼前のアナウンス例 ❖

「まもなく朝礼です。離れる場所を消灯して下さい」

❖ 清掃後のアナウンス例 ❖

「1階商品倉庫、3階倉庫の電気を消して下さい」



フリーソフトの
アラーム機能で
定時放送設定



放送用アンプ



管内スピーカー

節電効果
Excellent!



デマンド計



電気使用量の上限を設定しておけば使用量を超えそうな時に警報がなるので、不要な設備の電源を切る事ができる。

節電効果
Good!



消灯の徹底



社内のルールは時間が経過すると忘れてゆくの、意識付けのためにルールを表示する。

節電効果
Very Good!



電灯の間引き



2本を1本に間引き

2本とも間引き

電灯は2本の所を1本にしたり、2本まるまる間引き。電灯使用量は今期も下がった。

環境活動のご紹介③

節水の取り組み

節水効果
Excellent!

水の再利用 (循環ポンプ)

コーヒーを焙煎すると一般的に「チャフ」と呼ばれる薄皮が剥がれて、熱風と共に焙煎機外部へ排出される。以前はチャフを回収するために100%水道水を使用していたが、水の循環設備を作れば大きなエコになるので設備を導入する事に決定。但し、設備を外注すると大きな費用が発生するので、循環設備自体を自作する事によって導入コストの大幅ダウンに成功。平成24年に設置し毎年改良を重ね、今期もさらに水道水使用量が減少した。

節水効果
Good!

節水の徹底 (節水励行の表示)

ルールの徹底について、その場にルール表示する事によって高い改善効果がみられた。ルールを作れば作るほど古いルールが忘れられて行くので、意識付けのためのルール表示は非常に重要。

※ 焙煎機の熱風とチャフを分離して排出する装置 ※

熱風は上部から排出され、チャフは熱風と分離され落下する。しかしチャフは下部で内部に付着するものも多く、散水して回収する必要がある。以前は100%水道水を使用していた。

1

水をポンプで汲み上げて内部へ散水する事でチャフを回収②へ

チャフ

熱風
チャフ

拡大

2

ポンプでチャフの混ざった水を汲み上げ③へ

3

麻袋でチャフと水を分離してポンプで汲み上げ①へ
麻袋はコーヒー生豆が入っている袋を再利用。

水の出しっ放し厳禁!

手や弁当箱等を流しで洗っている時に水やお湯を出しっ放しにしない!(10秒以上はの無駄)



こら〜っ!
ルールを
忘れないで!



環境活動のご紹介⑤

製品への環境配慮

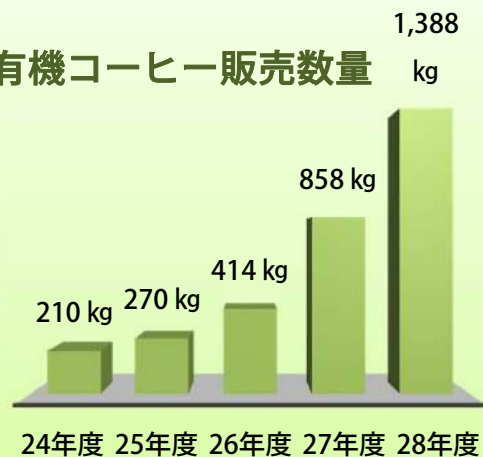


有機コーヒーの販売

化学的に合成された肥料及び農薬を使用せずに栽培する事で、農業による環境への負荷が小さくなり、安心・安全な材料として近年注目されている。農林水産省の登録認定機関の検査に合格して「有機」「オーガニック」と表示する事が可能となる。環境に対する意識が高まった営業マンから自然に声が上がって有機JAS認証取得に至った。



有機コーヒー販売数量 kg



＊有機珈琲シリーズ＊

今年度も販売量が急増しており、環境や健康に対する意識が高いお客様に選んで頂いている。

やったね！
美味しさにも
こだわった
結果かも。



環境活動のご紹介⑥

リデュース

環境配慮
Very Good!
😊

ペーパーレスの推進



✳ 電子帳票 ✳

整理整頓が容易で業務効率向上に繋がる。仕入業者様のカタログも電子化。



✳ ペーパーレス会議 ✳

年間700枚以上の用紙削減。プロジェクターを利用して資料を投影する。

節約効果
Good!
😊

コピー用紙の節約



✳ A5用紙の活用 ✳

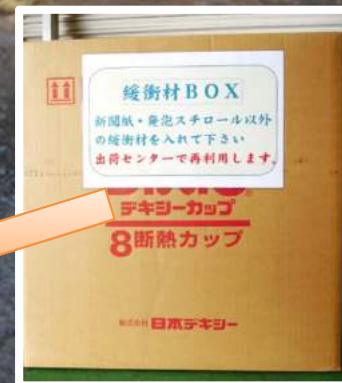
印刷する情報量が少ない場合はA5版のコピー用紙に印刷。A4コピー用紙を自社で裁断し、手差しトレイにA5用紙をセット。A5サイズは大量印刷しないので手差しトレイで間に合っている。

リユース

環境配慮
Very Good!
😊

緩衝材・入荷商品空箱の再利用

商品の入荷場に緩衝材BOXを設置。入荷した商品の開梱時に入っている緩衝材をこの箱に入れ、空き箱で使用可能なものは出荷商品の梱包に使用されます。緩衝材BOXも入荷商品の空き箱という念の入れ様。



環境活動のご紹介⑦

リサイクル



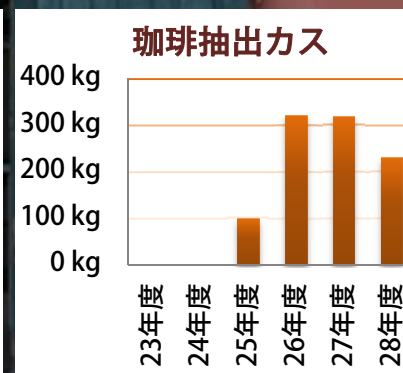
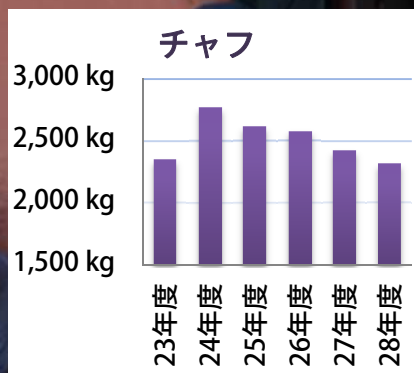
リサイクルの推進

※リサイクル量※

新聞紙は前期までは梱包用に再利用していたのだが、お客様より食品の梱包に使用するのは問題があるとのこと指摘を受け、昨期よりリサイクルすることにした。そのために紙のリサイクル量が増えている。

※リサイクル収支※

昨期（平成27年度）4月よりダンボール・紙の売却単価が1kgあたり2円上がったので今期も収入が増えている。



リサイクル項目	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	収入	支出	収入	支出	収入	支出	収入	支出	収入	支出	収入	支出
ダンボール・紙売却	0円	0円	34,673円	0円	46,121円	0円	59,252円	0円	77,806円	0円	95,759円	0円
チャフ・抽出カスの肥料化	0円	31,418円	0円	51,490円	0円	51,622円	0円	48,798円	0円	54,030円	0円	46,246円
チャフの売却	0円	0円	0円	0円	6000円	0円	6000円	0円	6000円	0円	6000円	0円
合計	0円	31,418円	34,673円	51,490円	52,121円	51,622円	65,252円	48,798円	83,806円	54,030円	101,759円	46,246円
収入 - 支出	-31,418円		-16,817円		499円		16,454円		29,776円		55,513円	

環境活動のご紹介⑧

品質管理強化による環境負荷の低減

品質向上
Excellent!



クレーム減少によるロス軽減

X線検査機



金属探知機



コーヒーの生豆が入っているドンゴロス（麻袋）にはコーヒーだけでなく、石・金属・糸くず・虫などさまざまな異物が混じっており、これらが製品に混入するとクレームとなる。結果、商品の回収や廃棄等にコストが発生するとともに環境負荷が生じる。環境負荷を低減すべく、異物混入対策の切り札として平成27年度より稼働開始の異物除去設備及び異物検出設備を導入。今期も新たな異物除去設備を追加した。なお、導入にあたり中小企業庁の「平成25年度補正中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業」に採択され、費用総額の2/3の補助金を頂けた事が大きかった。導入後、小石類の混入クレームは皆無となった。

石抜き機(小)



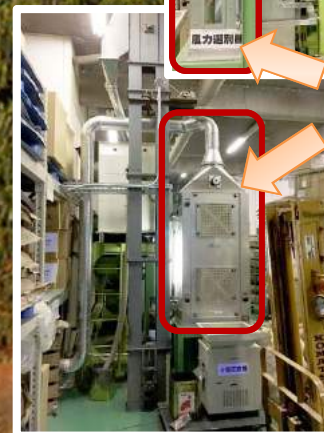
抜き取った石
などの夾雑物



石抜き機(大)



風力選別機
正面と側面



環境活動のご紹介⑨

地域との関わり

地域密着
Very Good!
😊

堺市まち美化推進プログラム

大阪府堺市が募集している「堺市まち美化推進プログラム」に参加。毎週水曜日に15分間本社の前の歩道を280mに渡って清掃している。また、通行する人に楽しんでもらおうと今期もコスモスや向日葵を植えた。

歩道の清掃



はるかの向日葵2016



まち美化推進
プログラム
参加企業用の
立て札

コスモス



啓蒙活動
Very Good!
😊

弊社の環境活動の事例発表

今期も事例発表をさせて頂く機会に恵まれた。2016年10月16日に開催されたエコアクション21全国交流大会 in 横浜での事例発表、2016年1月には大阪府ホームページに省エネ活動事例として弊社の環境活動を掲載して頂いた。府のHPの1ページをまるまる使用して詳細に紹介して頂いたのは驚きだった。

<URL>

http://www.pref.osaka.lg.jp/eneseisaku/syoene_cyarenji/uno-setubi-2.html



過去の事例発表
の様子



2015.10.16
EA21全国交流研修大会
in横浜

環境活動のご紹介⑩

社内の環境教育

確認効果
Excellent!



朝礼でルール遵守状況を確認

毎週事務所に今週のルールを貼りだして、月曜日の朝礼で社長がルールが守られているかをチェックする。守られていなかったら次の週も同じルールをチェックする。エコアクション21の審査人からアイデアを頂き、非常に効果があった。環境活動を始めてから社内ルールが沢山できたが、新しいルールができると古いルールが忘れられてゆくという問題が発生。この問題を改善しているのが朝礼でのルール遵守状況の確認だ。

今月のテーマ

情報を共有する

今週のルール(事務所)

15分以上離席するときは

パソコンの電源を押してスリープ状態にする。

環境教育
Very Good!



エコ検定受験

Best Coffee By 上島珈琲貿易株式会社
MUC
JCOA 認定コーヒーインストラクター2級

マックくん

〒587-0002 大阪府堺市美原区太井122-1
TEL (072) 361-1000
FAX (072) 361-2453
<http://www.uisu-coffee.co.jp>

エコポイント
eco

合格者で希望者には名刺にエコピープルの認定マークを表示。

会社全体でエコ検定の受験を推奨しており、これまでの合格者は22名。少しずつだがエコピープルが増えている。

今期は
合格者ゼロ。
残念……。





ご精読いただき
ありがとうございました！
来年は嫁のクイーンさんも
子育てを終えてもどってくる
予定なので楽しみに～



To be continued !